



願應寺たより

Vol.IV 令和6年8月

春季永代経法要

まだまだ暑い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。能登の震災から半年以上たちましたが、思うように復興が進んでいないようです。この猛暑の中、被災地での生活はいかなるものかと、想像しただけで辛く悲しい気持ちになります。春の永代経で皆様にお寄せ頂いた全てのお志は、本山を通じて被災地へご寄付させて頂きました。

総額二十二万三千三百二十八円でした。

誠にありがとうございます。無事に法要をお勤めできましたこと、心より感謝申し上げます。



お斎 精進ちらし寿司



法話 榎山氏

納骨法要

年々暑さが厳しくなってきたので、何か暑さ対策はできないかと思ひ、今年の納骨法要では本堂にスポットクーラーを導入しました。

が、五十年前に建てられた本堂では電力をまかないきることができず、まともに稼働したのは一台のみ！
来年は快適にお参りして頂けるよう工夫したいと思ひます。

大変お暑い中、ご参詣くださいました皆様、誠にありがとうございました。



八月七日に長男が京都本山にて得度式を受けて参りました。

真宗大谷派では親鸞聖人が九歳で得度を受けたことになり、九歳になると得度（仏門に入ること）を受けることができるようになります。本人の意思に委ねておりましたが、長男に受けるか否かを尋ねると、「受ける」と二つ返事でかえってきました。

得度式当日、儀式を終えて法衣を身にまとった息子を前に、尊い決断をしてくれたなあと涙がこぼれました。

長男の成長を小さいころから暖かく見守り、喜んで下さった皆様、このような日を迎えられること心より感謝申し上げます。

合掌

今日のことは

人生とは自由を求めることではない

人生とは運命を受け入れ、取り換え不可能なその役割を全うすることだ

自由を求める生き方は奴隷の思考である

劇作家 福田恆存

お寺の日々の様子を配信しています



Instagram

是非ご登録下さい(人▽人)/

イベント等のご案内を配信しています。



公式LINE